

問

下の2枚の写真を見比べてください。
どこが違うか、分かりますか？ 答えは2つ！



答
1

しゅもく
檜木 (釣り鐘をつく棒)

檜木は「消耗品」。長年風雨にさらされ、撞面も摩耗して、見た目も強度も劣化していきます。あまり目立たない存在のようにも思えますが、実は、鐘楼はもちろん、お寺全体の美観を向上し、手入れが行き届いた印象にする名脇役。さらに、檜木を定期的に交換・メンテナンスすることは、安全上もたいへん重要です。



そして…

答
2

鐘の「音」！

大切に扱えば数百年にわたってその音色を響かせ続けることができる梵鐘（釣り鐘）。職人の手仕事によって造られる梵鐘の音は、ひとつひとつが世界に2つとないオリジナル作品であり、ご本尊に次ぐお寺の財産&アイデンティティ。その音色、実は「檜木」の材質・サイズ・重量・撞き位置等によって大きく変わる、ということをご存知でしたか？音響学の権威である青木一郎氏（元京都工芸繊維大学教授）によると、おおむね2尺4寸以上の鐘には棕櫚（シュロ）よりも檜（ヒノキ）の檜木が適しており、鐘の口径や重量に応じてその最適なサイズも異なります。お寺のアイデンティティである鐘の音。その最高の響きを引き出すことができるベストマッチな檜木の設計&取り換えを、この機会に検討してみませんか？



5つの提案

700余年の伝統ある梵鐘づくりの老舗ならではの経験と実績にもとづく最適なお提案をさせていただきます。

- 1 耐久性・硬さ・美観に優れた国産ヒノキ材を使用
- 2 吊環・鎖など、金具はすべてステンレス製品を使用
- 3 ボルトの緩みを防止するピン留め加工
- 4 支持鎖（ロープ）の最適な長さ・角度の調整
- 5 撞き紐の交換（組み紐、白色）

【標準施工価格】 ¥200,000.~

他にも、鑄造品に関する様々なご要望にお応えします。
お気軽にご相談ください。

- ・銅像等の変色や汚れを取る作業（磨き・再塗装）
- ・梵鐘の音やひび割れ等の診断
- ・喚鐘、法水鉢、祭鉦等銅鑄物製品の修理・製作
- ・オリジナル記念品・贈答品のご相談



◆記念品として売ってます!!

風鈴「湖郷の風」 & 小梵鐘「思安和世の鐘」



株式会社 金壽堂

電話：0749-45-0003 FAX：0749-45-0505

〒527-0122 滋賀県東近江市長町273番地

URL：http://www.kinjudo.jp